

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ヤマウチ枚方新主工場棟建替	階数	地上2F
建設地	大阪府枚方市招提田近	構造	S造
用途地域	工業専用地域、都市計画区域内(市)	平均居住人員	30人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,400時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年11月30日 予定	評価の実施日	2021年11月11日
敷地面積	17,039 m <sup>2</sup>	作成者	奥山・勝山
建築面積	4,340 m <sup>2</sup>	確認日	2021年11月30日
延床面積	5,022 m <sup>2</sup>	確認者	堀江 渉

外観パース等  
図を貼り付けるときは  
シートの保護を解除してください

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.6

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30%☆☆☆☆ 60%☆☆☆ 80%☆☆☆ 100%☆☆ 100%超☆☆

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.5

#### Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.7

#### Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.7

#### Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 3.2

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.4

#### LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.4

#### LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.2

#### LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.6

3 設計上の配慮事項		
総合	事務所を備えた工場施設である。快適性・省エネルギー性・省CO <sub>2</sub> の両立を目指して計画している。	
その他	0	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
快適な執務空間を目指し、高断熱外皮、快適かつきめ細やかな制御が可能な空調システムを導入している。	フレキシブルな執務空間のためにOAフロアを採用し、維持管理や更新性を確保している。	既存棟との調和を考慮しながら、開放感のある建物としている。また、外部には夜間照明を設け、防犯性にも配慮している。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
高断熱外皮の導入により、BPI=0.68を達成している。また、南側から採光を多く取り入れられるような計画としている。	衛生器具には省水型器具を採用し、節水に配慮した計画としている。	エネルギーインフラは電気のみとし大気汚染物質を全く発生させない計画としている。また、屋外照明は、周辺環境を考慮した計画としている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R3-0091

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	ヤマウチ枚方新主工場					
	建設地	大阪府枚方市招提田近					
	用途/区分	工場 事務所					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					A	
①	CO2削減					4	
②	みどり・ヒート アイランド対策					3	
③	建物の断熱性					5	
④	エネルギー削減					3	
⑤	自然エネルギー直接利用					○	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—

## エネルギー消費量の報告

【評価項目】			
項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	4.4	4
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	3.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	2.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	2.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	5.0	5
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	2.9	3
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	4.0	○
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない

## その他

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		